平成24年2月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年10月13日

上場会社名	株式会社グラファイトデザイン	上場取引所　大
コード番号	７８４７	ＵＲＬ　http://www.gd-inc.co.jp
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）山田　恵
問合せ先責任者	（役職名）取締役経理部長	（氏名）窪田　悟　（ＴＥＬ）0494（62）2800
四半期報告書提出予定日	平成23年10月14日	配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無：有　　機関投資家・証券アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

１．平成24年２月期第２四半期の連結業績（平成23年３月１日～平成23年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年２月期第２四半期	1,528	13.1	154	145.2	133	157.0	0	△85.0
23年２月期第２四半期	1,351	30.4	63	－	52	－	5	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
24年２月期第２四半期	12　39	－　－
23年２月期第２四半期	82　52	－　－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
24年２月期第２四半期	3,357	1,197	35.7	17,238　69
23年２月期	3,425	1,196	34.9	17,232　43

（参考）自己資本　24年2月期第２四半期　1,197百万円　23年2月期　1,196百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
23年2月期	－	－	0	00	－	－	0	00	0	00
24年2月期	－	－	0	00						
24年2月期（予想）					－	－	0	00	0	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：　無

３．平成24年2月期の連結業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,300	△6.8	380	△25.2	341	△33.1	179	△31.9	2,577	17

（注）当四半期における業績予想の修正有無：　有

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．３「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　ー社　（社名　　）、除外　ー社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：有

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年2月期２Ｑ	69,456株	23年2月期	69,456株
②　期末自己株式数	24年2月期２Ｑ	ー株	23年2月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年2月期２Ｑ	69,456株	23年2月期１Ｑ	69,456株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は、終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）セグメント情報 …… 8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響を受け、原子力発電所事故による発電供給の制約、サイプライチェーンの寸断は企業活動に打撃を与え、また、自粛ムードの広まりにより、個人消費が悪化し、経済活動が急速に落ち込みましたが、その後は、懸命な復旧活動により、生産活動の正常化等が進み、持ち直しの動きもでておりますが、夏場の全国的な電力制限や米国経済の減速、更なる円高基調等により依然として予断を許さない状況が続いております。

また、ゴルフ業界を取り巻く環境におきましては、震災の影響からゴルフ用品市場の販売状況は厳しい状況が続く中、ゴルフ観戦を楽しむスタイルや平日プレイの増加等により多様化を見せ明るい話題もありました。

このような状況の中、当社グループはゴルフシャフトの販売の拡大と自転車フレーム等製造販売の事業の販売拡大に傾注してまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、第１四半期以降も販売が好調に推移したことから売上高1,528,696千円（前年同期比13.1%増）、営業利益154,705千円(前年同期比145.2%増)、経常利益133,763千円(前年同期比157.0%増)となりましたが、新会計基準の導入により四半期純利益860千円(前年同期85.0%減)となりました。

セグメント別の主な状況は、下記のとおりであります。

①日本

当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高1,332,688千円（前年同期比16.2%増） 営業利益226,221千円（前年同期比67.4%増)となりました。

第１四半期連結会計期間に引き続きゴルフシャフト製品の販売が比較的堅調に推移した結果、売上高が前年を上回る結果となりました。

②米国

米国経済は経済振興策に取り組んでまいりましたが、依然として経済は本格回復に至らず更なるドル安傾向となりってまいりました。また、震災以降クラブメーカーからの受注の延期等費により、売上高は233,559千円（前年同期比1.6%増)となったものの、営業損失72,534千円（前年同期は営業損失73,751千円)となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ68,119千円減少し、3,357,698千円となりました。

主に、流動資産において、現金及び預金が114,967千円増加し、売上債権が226,120千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第２四半期連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ68,553千円減少し、2,160,368千円となりました。

主な要因は、未払法人税等が184,425千円減少し、また、新会計基準による資産除去債務45,251千円が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第２四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ434千円増加し、1,197,330千円となりました。

これは、四半期純利益860千円を計上したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ114,967千円増加し、1,185,780千円となりました。

当第２四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、124,558千円（前年同期は378,132千円の収入）の収入となりました。

主な要因は、売上債権の減少により225,289千円の収入となり、法人税等の支払額が215,276千円となり、四半期純利益99,922千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金は、36,358千円（前年同期は25,515千円の支出）の支出となりました。

主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が24,960千円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金は、30,328千円（前年同期は158,716千円の収入）の収入となりました。

主な要因は、借入金の30,328千円純増加によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期におきましては、平成23年10月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、上期の業績回復に伴い、昨年と比べ受注の増加が見込まれ、連結売上高の予想といたしましては、3,300百万円を見込んでおります。

なお、連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。今後、連結業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益が1,149千円減少し、税金等調整前四半期純利益が、27,987千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は44,783千円であります。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準 」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用により、当第２四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年８月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,185,780	1,070,812
受取手形及び売掛金	603,833	829,953
商品及び製品	284,362	269,602
仕掛品	125,097	106,706
原材料及び貯蔵品	68,783	54,513
繰延税金資産	24,763	38,609
その他	40,618	42,085
貸倒引当金	△521	△778
流動資産合計	2,332,717	2,411,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	379,796	378,165
その他（純額）	250,692	238,912
有形固定資産合計	630,488	617,077
無形固定資産	43,375	49,012
投資その他の資産	351,116	348,221
固定資産合計	1,024,980	1,014,312
資産合計	3,357,698	3,425,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	389,054	388,029
短期借入金	727,418	624,390
未払法人税等	33,796	218,222
賞与引当金	27,472	27,020
その他	74,194	92,153
流動負債合計	1,251,936	1,349,815
固定負債		
長期借入金	282,090	356,310
役員退職慰労引当金	222,665	216,784
退職給付引当金	41,332	43,203
資産除去債務	45,251	－
その他	317,092	262,809
固定負債合計	908,431	879,106
負債合計	2,160,368	2,228,921

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成23年８月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成23年２月28日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	126,816	125,955
株主資本合計	1,299,082	1,298,221
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△17,031	△14,889
為替換算調整勘定	△84,720	△86,437
評価・換算差額等合計	△101,752	△101,326
純資産合計	1,197,330	1,196,895
負債純資産合計	3,357,698	3,425,817

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）
売上高	1,351,576	1,528,696
売上原価	730,658	787,633
売上総利益	620,918	741,063
販売費及び一般管理費	557,836	586,357
営業利益	63,082	154,705
営業外収益		
受取利息	2,771	167
受取配当金	380	383
受取手数料	5,063	3,680
雑収入	1,575	1,111
営業外収益合計	9,789	5,342
営業外費用		
支払利息	7,906	8,567
為替差損	12,050	17,396
雑支出	875	319
営業外費用合計	20,832	26,283
経常利益	52,039	133,763
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	－	7,004
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	26,837
特別損失合計	－	33,841
税金等調整前四半期純利益	52,039	99,922
法人税、住民税及び事業税	26,970	30,851
法人税等調整額	19,338	68,210
法人税等合計	46,308	99,061
少数株主損益調整前四半期純利益	－	860
四半期純利益	5,731	860

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年３月１日 至　平成22年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,039	99,922
減価償却費	37,602	41,732
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	26,837
ゴルフ会員権評価損	－	7,004
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,888	△1,870
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,456	5,881
賞与引当金の増減額（△は減少）	△136	452
為替差損益（△は益）	11,089	4,830
支払利息	7,906	8,567
売上債権の増減額（△は増加）	328,446	225,289
たな卸資産の増減額（△は増加）	△90,455	△48,080
仕入債務の増減額（△は減少）	38,830	1,604
その他	6,949	△24,334
小計	402,617	347,837
利息及び配当金の受取額	3,151	540
利息の支払額	△7,884	△8,542
法人税等の支払額	△19,751	△215,276
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,132	124,558
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,705	△22,871
無形固定資産の取得による支出	△1,052	△2,089
保険積立金の積立による支出	△16,182	△9,248
その他	△574	△2,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,515	△36,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△68,002	141,798
長期借入金の返済による支出	△90,040	△111,470
その他	△674	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158,716	30,328
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,104	△3,560
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	189,795	114,967
現金及び現金同等物の期首残高	520,487	1,070,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	710,283	1,185,780

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年３月１日　至　平成22年８月31日）

当社グループは、炭素繊維製カーボン製品の専門メーカーとして、同一の製品系列に属するスポーツ用品であるゴルフシャフト・自転車フレーム等の製造販売及びゴルフクラブ組立加工を行っており、その種類、性質、製造方法の類似性及び販売市場等の類似性から判断して、当該事業以外に主要な事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年３月１日　至　平成22年８月31日）

	日本（千円）	米国（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,121,721	229,855	1,351,576	－	1,351,576
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25,159	－	25,159	(25,159)	－
計	1,146,880	229,855	1,376,736	(25,159)	1,351,576
営業利益又は営業損失(△)	135,060	△73,751	61,309	1,773	63,082

（注）１．国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

２．本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

米国……米国カリフォルニア州

〔海外売上高〕

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年３月１日　至　平成22年８月31日）

	米国	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	229,855	229,855
Ⅱ　連結売上高（千円）	－	1,351,576
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	17.0	17.0

（注）１．国又は地域は地理的近接度により区分しております。

２．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にゴルフシャフト製造販売をしており、国内及びアジアにおいては当社が、海外は米国を現地法人である子会社が担当しております。現地法人は独立した経営単位であり、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は、生産、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」の２つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、ゴルフシャフト製造販売のほか、ゴルフクラブ組立加工及び自転車部品等の製造販売をしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間（自平成23年３月１日 至平成23年８月31日）

（単位:千円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	日本	米国	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	1,295,136	233,559	1,528,696	－	1,528,696
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	37,551	－	37,551	(37,551)	－
計	1,332,688	233,559	1,566,247	(37,551)	1,528,696
セグメント利益又は損失（△）	226,221	△72,534	153,686	1,019	154,705

（注）1.セグメント利益又損失の調整額1,019千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2.セグメント利益又は損失の金額の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。